

ティーチングオートフォリオ
東北生活文化大学 美術学部 美術表現学科 教授 三上秀夫

1.教育の責任

■ 学校教育

デザイン基礎と視覚デザインを担当

デザインの初歩から応用、社会との繋がりの中で課題解決に向けて、デザインの手法を用いて造形的なデザイン教育に取り組んでいる

■ 社会教育

造形講座の開催や作品制作と発表、展覧会を通した造形作品による発信と教育に取り組んでいる

■ カリキュラム

デザイン基礎Ⅰ	実技	必修	1年	50名	抽象的幾何形体による構成
デザイン基礎Ⅱ	実技	選択	1年	40名	抽象的幾何形体と具象形体による構成
視覚デザインⅠ	実技	選択	2年	30名	素材研究と色彩研究
視覚デザインⅡ	実技	選択	2年	30名	外部からのデザイン依頼に対応（グループワーク）
視覚デザインⅢ	実技	選択	3年	25名	外部からのデザイン依頼に対応
視覚デザインⅣ	実技	選択	3年	20名	卒業制作の会場やサイズを意識した作品設計
デザイン概論	講義	選択	2年	55名	デザインの歴史、著名デザイナーによる事例紹介
卒業研究Ⅰ	演習	選択	4年	5~8名	個人でテーマを設定し卒業制作に向けた作品の調査
卒業研究Ⅱ	演習	選択	4年	5~8名	個人でテーマを設定し卒業制作に向けた作品制作

2.教育理念

■ 自然観察をととして場や環境を考える

自然物等の観察、デッサンや描写をととして、そのものの成り立ちや法則を発見することで、人間のより良い創作が可能となる新たな価値観の創出に向けた取り組み

■ 造形教育をととした社会への関心と関わり

より良い創作物を作るための一つの方法として、自分の住む環境や社会の中で身近に感じる疑問や課題に対して、造形的な思考や作業で関わること

■ 創造的思考と人材の育成

場や環境、自分の住む社会の中で柔軟な発想と創造的な思考で地域社会に対して得意分野、造形で寄与できる人材の育成

3.教育の方法

■ 学生の得意分野でのチャレンジ

興味、関心を向けられることへ自信を持って働きかけ、その結果を発信する

■ 思考の整理整頓、造形的思考

課題に対する情報収集、他者からの意見や感想の整理整頓をするために、整列と並べ替えを基本に、造形的な思考を用いる

■ 制作物、作品の見せ方

どのような環境や現場で見せるのか、状況に応じた対応ができ、そのための最善の工夫

4.教育の成果

■ 行政から依頼 自転車交通安全ポスター

2024年度採用された2点のポスター（写真1）

■ 社会福祉法人から依頼 廃材を利用のコースターのデザイン

法人代表者の前で行ったプレゼンテーションの様子（写真2）



写真1



写真2

5.今後の目標

■ 短期目標

自分の作品発表、展覧会の場を教育の場、授業とのつながりとして活用
展覧会会場での人のつながり、造形作家や美術関係者、著名人、卒業生、高校生、中学生とのつながりの場として発信する

■ 長期目標

ゼミ活動の充実化、特に外部、企業や行政からのデザイン依頼に、いつでも対応できるような体制、学生が外へ出かけていける仕組みを備えたカリキュラムの整理を行う